

■(152)報道写真展は写真記者のコンペ 新年の競争はいかに

東京の百貨店であった報道写真展で複雑な心境になった。1年をニュース写真で振り返る恒例の企画で、東京拠点のマスコミの写真記者が撮影した約250点が並んだ。順番に見ると優劣をつけたくなる。受賞作や作品数、構図の迫力。競合社が奮闘していた。

1年を振り返る企画は、年末のマスコミでは定番だ。新聞は10大ニュースを記事と写真で紹介。テレビは記憶に残る映像を流す。通勤時に聞くBBCのネットラジオは、世界を飛び回ったリポーターが今年を象徴する問題に答える形でにぎやかに振り返っていた。個人の印象で言えば、アベノミクスから特定秘密保護法、靖国神社参拝——と安倍首相が目立つ年だった。写真展でも、オバマ米大統領とのツーショットや長嶋茂雄・松井秀喜両氏の国民栄誉賞受賞記念始球式での審判姿をとらえた大型写真がひととき目立っていた。そんな会場でも、津波や原発事故の被災地の今を伝える写真に、多くの人が目をとめていた。

新聞は新年の紙面に渾身の力を込める。1年前のヒットは原発事故の手抜き除染だった。2014年は、どの記事に軍配があがるか。新年の教室で「報道新聞展」をやっても面白そう。(山)